

## ランサムウェア被害が増加

事業者・団体を狙ったサイバー攻撃が、増加しています。

令和3年度上半期は「ランサムウェア」による被害が増加し、事業者を対象に被害が広がっています。

(引用：警察庁「令和3年度上半期のサイバー空間をめぐる脅威の情勢」)

従来のランサムウェアは、不特定多数の利用者を狙って電子メールを送信するという手口が一般的でしたが、現在はVPN機器からの侵入、特定の個人や事業者、団体等を標的にした手口に変化しており、社内のネットワークを狙うようになっています。

### ランサムウェアとは

ランサムウェアとは、パソコン等の端末及びネットワーク接続された共有フォルダ等に保管されたファイルを、暗号化して使用不能にする、または画面ロック等により操作不可とするウイルスの総称です。

このウイルスは、使用不能な状況を復旧することと引き換えに、金銭を要求することから「身代金要求型ウイルス」とも呼ばれています。

### ダブルエクストーション

最近のランサムウェアは、データの暗号化のみならずデータを窃取した上、事業者に対して「対価を支払わなければ、当該データを公開する」などと金銭（仮想通貨）を要求する二重恐喝（ダブルエクストーション）という手口が発生しています。

重要なデータは、暗号化やパスワード設定を行うようにしましょう。



## 標的型メール攻撃を体験してみませんか？

事業者、団体等を狙う攻撃は、バラマキ型から標的型に変化しています。

そこで、滋賀県警察では、「標的型メール攻撃の対応訓練」が体験できるシステムを導入し、県内の事業者、団体の方を対象としたサイバーセキュリティセミナーを開催します。

- 標的型メールの存在を知ること、防ぐことができるサイバー攻撃が増えます。
- 実際に、従業員の方に訓練用メールを送信して、意識向上を図ることも可能です。
- また、サイバーセキュリティ対策のポイントや経営層が考えるべきセキュリティ等のアドバイスも実施します。



### 体験型サイバーセキュリティセミナー概要

パソコンを用いて実際にランサムウェア等のウイルス感染や標的型メール攻撃を体験してもらうことができます。主に経営者やセキュリティ担当者を対象に、攻撃を体験した上、サイバーセキュリティの考え方や対策方法を説明します。従業員の方に、実際に訓練用メールを送信して、対応訓練を行うことも可能です。

- ・対象者：主に経営者又はセキュリティ担当者  
事業形態及び法人や個人は問いません。
- ・人数：最大60人（パソコン1台に2人の場合）
- ・費用：無料
- ・その他：資料配布あり

- ご要望に応じて開催します。（日程等は調整させていただきます。）
- 詳しくは下記までお問い合わせください



「10月10日、11日はデジタルの日」セキュリティ対策を推進しましょう。

滋賀県警察本部 サイバー犯罪対策課 077-522-1231（代表）